

53 公共施設に石綿 さいたま市



The Knights

さいたま市は7日、学校施設を除く市有施設における石綿(アスベスト)の使用実態調査の最終結果を発表しました。市環境対策課によると、調査は全694施設を対象に実施。職員らの図面調査や専門機関による目視調査を経て、90施設で成分を分析しました。

その結果、施設内に1%を超えるアスベストを含有する個所がある施設が53ありました。このうち飛散する可能性が高く、市民の利用が多い5施設について、さいたま市は、最優先で除去対策が必要な「緊急」レベルと判断し、1部を閉鎖したり、吹付け剤での封じ込めやビニールシートで覆うなどの応急処置を開始しました。

市が最優先で除去対策が必要と判断したのは、以下の5施設です。

- ・丸ヶ崎自治会館(見沼区丸ヶ崎町、階段・会議室)
- ・大宮駅東口大門町自転車駐車場(大宮区大門町、屋根のはり)
- ・市立高等看護学院(緑区三室、実習室・玄関など)
- ・市浦和ふれあい館(浦和区常盤、舞台上のはり)
- ・市消防団下落合分団(中央区下落合、会議室)

市は、1%を超えるアスベストを含有する個所がある53施設を、市民利用の有無、飛散性の有無などに応じて3段階に区分し、順次除去工事を始めるほか、年内には全ての施設からアスベストを除去するのにかかる費用を見積もる方針です。

また、市学校施設課は10月始めの中間報告で使用が明らかになった小中学校6校について、使用個所をビニールシートで覆うなどの安全対策を講じ、岩槻中学校の音楽室については6日に除去作業を終了しました。全市立小中高校の調査は今月中に終える予定です。

当社では、大気・建材等のアスベスト分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい

資料：2005年11月8日付 埼玉新聞 P.19

環境分析箇所 重田郁美

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 アスベスト・PCB等の化学分析 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 EU規制物質の化学分析 |

